

TNT研修会参加報告

2015年6月に仙台で開催されたTNT(total nutritional therapy)研修会に参加してきたので、TNTの紹介を兼ねて報告します。

TNTプロジェクトは、臨床栄養法を普及させるための独創的な教育プログラムとして開発されました。Global standardとして、世界各国の医師を対象としたプログラムであり、1996年にシカゴにおいて全世界への展開が開始されました。日本では日本静脈経腸栄養学会とアボットジャパンの共催で展開されており、これまでに20,559名の医師が研修を修了しています(2014年12月現在)。

今回の研修会は講師5名、参加者48名で開催され、関東や関西からの参加者もみられました。2日間の研修では世界共通のテキストを用いて、臨床栄養療法に関する文献に基づいたスライドセッション、ワークショップ、症例検討を行い、スクリーニングと栄養アセスメント、栄養必要量、栄養療法の適応となる患者への最適な栄養療法の選択を学びました。

栄養不良の発生率は高く、入院患者の30~50%は栄養不良であるとされています。また、栄養不良の患者における合併症発生率は栄養状態が良好な患者の2~20倍であることが、多くの研究で示されており、栄養不良は合併症の増加のほか、入院期間の延長、医療費の増加、死亡率の上昇と関連するとされています。栄養の投与経路選択については、「腸が機能しているなら、腸を使うこと(if the gut works, use it.)」とされ、早期から積極的に経腸栄養を行うことが推奨されています。その利点としては、消化管の構造と機能の維持、腸管免疫機能の促進、bacterial translocationの抑制、敗血症リスクの軽減、静脈栄養と比べて合併症が少ないこと、コストの削減が挙げられます。

東北大学病院NSTではメンバーのうち20名の医師がこのTNT研修会を修了しています。誰でも受講可能な研修会ですので、栄養に関する知識を整理したい、深めたい、興味があるという先生は、是非一度受講されることをお勧めします。



スライドセッションの様子



左から土屋誓先生(講師)、有明恭平先生(肝胆臓外科)、柴田近先生(講師)、筆者、宮田剛先生(講師)、朝倉徹先生(講師)

NST開催企画年間予定

2015年11月2日(月):NST研修会
**「新潟大学医歯学総合病院ならびに
 新潟県における摂食嚥下障害への取り組み」**
 講師:新潟大学医歯学総合研究科
 摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授 井上 誠 先生

2015年11月20日(金):栄養支援ステーション

2016年2月1日(月):NST研修会
「胃瘻・静脈ポートの話題」
 講師:未定

2016年3月14日(月):NST研修会(JSPEN報告会)
「東北大学から発信する栄養管理」

今年度NST通信発行予定

第42号	リハビリテーションと栄養
第43号	NST専門療法士と リンクナース会の紹介
第44号	栄養評価について
第45号	未定



【文責】肝胆臓外科 前田晋平